

令和 3 年度 事業報告

公益社団法人 港区シルバー人材センター

I はじめに

令和 3 年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大によりセンター活動や事業活動が大きく影響を受けました。特に感染力が強い変異ウイルスにより、当センターにおいても十数名の会員が罹患しましたが、幸い軽症に済んでいます。こうした状況下、センターは不安を抱えながら就業する会員の相談に応じるとともに、マスク等の新型コロナウイルス感染予防対策用品を全会員に配布するなどの安全対策を講じました。

また、センターは安全対策を徹底する一方で、活動を極力停止させないよう諸会議や打ち合わせをオンラインで開催するための環境を整え、1 月からの理事会等をオンラインで開催しました。会員活動においては、会員が自主的に組織活動に参画する「ちいコミ」(地域班会議)を 2 年ぶりに再開しましたが、感染拡大の波を受け途中で開催中止となりました。この他、センターをPRするためのイベント等も自粛が相次ぎ、会員間の交流は減少しました。

さて、令和 3 年度は第 3 次基本計画の 2 年目の年でした。

第3次基本計画では、「自主・自立、共働・共助」を基本理念とし、健康で働く意欲のある高齢者のために、その知識、経験及び希望に沿った就業機会を確保し、生きがいや社会参加がこれまで以上に推進されることをめざしています。

この将来像を実現するため、「会員の増強」「就業の推進」「就業の質の向上」「安全就業の徹底」「会員活動の推進」「推進体制の強化」の 6 項目を重点項目として掲げ、会員の皆さまとともに理事会、委員会等を挙げて取り組んできました。

重点取組事項のひとつ「行政や地域の諸団体と連携し、地域のニーズに適応した事業の開発・実施に努める」では、総務省の補助事業である地域連携型のデジタル活用支援推進事業の認定を新たに受け、区内 5 つのいきいきプラザでスマートフォン講座を 14 回開催し、91 人の区民にご参加いただくなど、コロナ禍においても我々にできることを模索し、実施しました。

同じく重点項目である会員増強では 7 年連続の会員の増加となり、前年度比 16 人増 (0.9%増) の 1,702 人となりました。

これは、会員が主体となって行う入会説明会の開催回数を増やしたことや、WEB入会を積極的に推進したことにより効果をあげました。さらに、3 年度からプラチナ会員制度を新たに設置して、年齢や健康状態等の諸事情により就業が困難となりながらもボランティア活動等に参加するために在籍したいという会員が 30 人登録し

たことも増加に作用しました。

次に契約金額ですが、請負契約金額は前年度比 10.5%増の 647,483 千円、シルバー派遣契約金額は前年度比 9.2%増の 126,304 千円、両方の合計金額は 773,787 千円、前年度対比 10.3%増となりました。

最後に就業率ですが、請負・派遣を含めた全体の就業率は前年度比 3.6 ポイント減少し 79.3%となりました。事業活動は、新型コロナウイルスによる影響が続き先行きは依然として不透明ですが、徐々に回復の兆しが見られる結果となりました。

II 基本方針

1 センター運営の目標及び原則

「自主・自立、共働・共助」を基本理念とし、健康で働く意欲のある高齢者のために、その知識、経験及び希望に沿った就業機会を確保し、生きがいや社会参加がこれまで以上に推進されることをめざし、事業に取り組んでまいりました。

2 第3次基本計画の取り組み

令和3年度は「第3次基本計画」(3ヶ年計画)の2年目にあたり、各項目別の行程表に基づき以下の6項目を重点事業として着実に取り組んできました。

- (1) 会員の増強
- (2) 就業の推進
- (3) 就業の質の向上
- (4) 安全就業の徹底
- (5) 会員活動の推進
- (6) 推進体制の強化

3 令和3年度 目標に対する結果

令和3年度の事業目標及び実績は以下のとおりです。

区分		目標	実績	達成率	結果
(1) 会員数		1,730 人	1,702 人	98.4%	未達
(2) 就業実人員		1,349 人	1,350 人	100.1%	達成
(3) 就業率		78.0%	79.3%	1.3P 超	達成
(4) 契約金額					
内訳	請負・委任契約	690,000 千円	647,483 千円	93.8%	未達
	シルバー派遣契約	118,000 千円	126,304 千円	107.0%	達成
	計	808,000 千円	773,787 千円	95.8%	未達

* 数値は千円未満を切り捨てています

Ⅲ 令和3年度の概況

1 会 員 数

令和3年度末会員数は、1,702人となり男女別内訳は、男性819人、女性883人で、男女比は男性48.1%、女性51.9%でした。

今年度の入退会者数は、入会が172人(前年度153人)、退会が156人(同143人)でした。前年度末会員数の1,686人と比較すると、16人(前年度比約0.9%)の増加でした。

2 請負契約における事業実績の特徴

(1) 契約金実績

令和3年度の年間契約金額は、令和2年度の実績586,162千円を約61,321千円(10.5%)上回り、647,483千円となりました。

契約金額の事業別内訳は、公共事業が前年度に比べ約24,345千円(9.9%)の増加で270,350千円、民間事業(独自事業含む)が前年度に比べ約36,976千円(10.9%)の増加で377,133千円となりました。

(2) 契約件数及び就業延人員

令和3年度の契約件数は、前年度比較549件(9.3%)増加の6,470件、就業延日人員は、前年度比較11,644人日(9.6%)増加の132,775人日となりました。

契約件数及び就業延人員の対前年度比は、公共事業が契約件数で2.6%減少、延日人員で13.3%増加しました。民間事業(独自事業含む)は契約件数で12.6%、延日人員では7.3%それぞれ増加となりました。

(3) 職群別事業実績

令和3年度の職群別の契約金額では、管理群が302,111千円(46.7%)、続いて一般作業群が約167,573千円(25.9%)、サービス群が約106,809千円(16.5%)、技能群が約27,055千円(4.2%)、事務整理群が約24,890千円(3.8%)、技術群が約19,010千円(2.9%)等となっています。

職群別事業実績では、管理群と一般作業群で全体の72.6%を占めました。

(4) 公民事業比

公民事業比については、令和2年度42.0:58.0に対して令和3年度41.8:58.2となり、ほぼ同じ比率となりました。

(5) 年間就業実人員

令和3年度の年間就業実人員は1,255人で令和2年度の1,312人と比べ57人減少しました。今後とも未就業者の方が一人でも多く就業に就けるよう、さらに就業開拓を推進します。

なお、シルバー派遣事業のみで就業する会員が95人おり、シルバー派遣事業を含めた就業実人員は1,350人となりました。

(6) 年間就業率

令和3年度の年間就業率は、73.7%となり、前年度の77.8%から4.1ポイント減少しました。一人でも多くの会員が就業できるよう、単発のモニター業務を就業開拓して仕事の情報を事務局だよりやSmile to Smileを通じて提供するなど就業機会の提供を広く行いました。今後も就業対策委員会が主体となって就業相談会等を活用して未就業対策を行います。

また、シルバー派遣事業を含めた年間就業率は79.3%となり、前年度の82.9%から3.6ポイント減少しました。

3 シルバー派遣事業

令和3年度のシルバー派遣事業は、前年度に比べ受注実績、受注件数、派遣就業実人員、派遣就業延人員がいずれも増加して、さらに派遣登録会員数は、33人増加の471名となりました。

受注件数は、前年度比較12件(9.0%)増加、派遣就業実人員は51人(16.5%)増加、派遣就業延人員は、1,737人日(10.9%)増加となりました。

年間の派遣契約実績は、126,304千円で、前年度比較10,672千円(9.2%)の増加となりました。

令和3年度 シルバー派遣実績表

(令和3年4月～令和4年3月)

(公社)港区シルバー人材センター

派遣労働登録会員数(人)		受注件数(件)		契約金額(円)			就業実人員(人)	就業延人員(人日)
男性	女性	公共	民間	公共	民間	合計		
209	262	2	143	13,298,055	113,006,587	126,304,642	360	17,698

*上記の就業実人員360人のうち、派遣事業のみの就業実人員は95人、請負・派遣両方の就業実人員は265人でした。

IV 事業の実施状況

1 会員の増強

高齢者のいきがいの充実と社会参加の推進を図るため、既存会員の維持・退会抑制、新規会員の募集を推進するとともに、広報誌やホームページ、チラシの新聞折込等、様々な企画を行いセンターのPRを行いました。

また、曜日が固定化している入会説明会の改善を図るため、説明会の回数を増やす等参加しやすい環境づくりを進めました。さらに、QRコードを積極活用し、非対面のWEB入会説明会への案内を推進しました。

(1) 普及啓発事業

区 分	実施回数等	備 考
① センター 広報紙の発行	年3回 5、9、1月 7,500部	「みなとシルバーニュース」を作成し、会員の就業活動を中心にセンターの事業活動を広く周知しました。
② ホームページによる情報発信	随時更新	法人として必要な基本情報を公開し、併せて事務局だよりや仕事の募集等の情報を毎月発信しました。
③ 事務局 だよりの発行	月1回（年12回） 約21,300部	就業情報や会員にとって必要な情報を提供し、情報の共有化を図りました。また、文字を大きくする等読み易く分かり易い紙面構成に改めました。
④ 広報強調 月間事業	ポスター掲出 年1回10月 100枚	区設掲示板に会員募集のポスターを掲出し広くセンターをPRしました。
	シルバー人材センター写真展 年1回10月	東京しごと財団が主催するシルバー人材センター写真展へ3点の写真を提供しました。
⑤ イベント 事業への参加	新型コロナウイルス感染防止のため 中止	エコライフフェア、みなと区民まつり、港区地域福祉フォーラム、介護予防フェスティバル等での参加を計画していましたが、中止しました。
⑥ 会員増強月 間事業	ポスター掲出 年2回2、3月 計130枚	区設掲示板に会員募集のポスターを掲出し、入会を呼びかけました。

	新聞折込チラシ 年3回 1、2、3月	QRコードを活用した会員募集チラシの新聞折込を実施しました。
	郵便局窓口封筒広告の設置 年2回 2、3月 51局 51,000部	郵便局内に設置されている窓口現金納入封筒にセンターの広告を掲載しました。
⑦ 会員募集の 広告等	新聞折込チラシ 年4回 2、3月	登下校誘導業務や家事援助サービス等、業種を絞った会員募集の新聞折込を実施しました。
⑧ みなとふれ あい館事業P Rの強化	ホームページの掲載 随時	ホームページを活用し講座内容を積極的に発信しました。
	新聞折込チラシ 年4回 6、9、12、3月	新聞折込チラシを作成し、パソコン教室やカルチャー講座の受講生を募集しました。
	チラシやポスターの設置・掲出	いきいきプラザや図書館等へチラシを設置した他、ふれあい館入口にリーフレットを設置しました。
⑨ 1+1(ワン プラスワン) 運動の実施	随時 入会者38人	会員の口コミ紹介制度。紹介カードを利用して入会状況を把握し、事務局だよりで入会状況をお知らせしました。
⑩ 「広報みなと」等区の 広報活用	高齢者サービス 一覧 年1回 5月	「孫の手サービス」の紹介をしました。
	高齢者サービス案内「いきいき」 年1回 6月	センターの事業案内と「高齢者の仕事の相談」「孫の手サービス」の紹介をしました。
	広報みなと 年3回 7、10、2月	会員募集・仕事の発注依頼及びシルバー事業のPRを行いました。
	区ホームページ 「生涯学習情報一覧」への情報提供	ふれあい館で行っているパソコン教室、カルチャー講座の内容について情報提供しました。
⑪ 電柱広告	センター周辺 6ヶ所	センター本部付近6ヶ所に電柱広告を掲出し、初めて来所される方への案内及びPRを図りました。

⑫ 都バス車内アナウンス	随時	都バスの最寄停留所案内アナウンスの後にセンターの案内を放送し、来所される方への案内及びPRを図りました。
⑬ 退会の抑制を図る取り組みの展開「プラチナ会員」制度の創設(新規)	プラチナ会員制度の導入(7月) プラチナ会員数：30人	退会抑制の取組みとして就業が困難となっても会員として在籍できるプラチナ会員制度を導入しました。積極的な広報活動を通じ会員ニーズを捉え初年度となる3年度は30人が登録しました。

(2) 相談事業

区分	実施回数等	備考
① 一般相談事業	随時	就業に関する相談を窓口等で随時実施しました。
② 出張相談事業	「高齢者の仕事の相談」 年9回、第2月曜日	港区役所区民相談室を会場に、理事が相談員として対応しました。
	「就職面接会」 年2回 6, 9月 相談者：2人	みなとしごと55主催の「就職面接会」に就業相談コーナーを設け、相談員として担当理事が対応しました。
③ イベント出張相談事業	新型コロナウイルス感染防止のため中止	港区社会福祉協議会主催の「地域福祉フォーラム」、港区立介護予防総合センター ラクっちゃ・港区保健福祉支援部高齢者支援課主催の「介護予防フェスティバル」に参加する予定でしたが、中止しました。

(3) 研修事業

区分	実施回数等	備考
① 入会説明会	4月、7月～3月に実施(20回) 説明会：135人 面談：181人 入会：172人	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、1回当たりの参加者数を5人以下に絞り開催しました。 5、6月は緊急事態宣言期間中のため中止しました。

② 入会説明会機 会の拡大	開催回数の拡大	入会機会の拡大のため、入会説明会の回数を月1回から2回に増やしました。これまで別日で開催していた入会説明会と入会面談を同日に行うことにより、入会希望者の手続きにかかる日数や時間を短縮しました。
③ 入会手続きの ICTの活用	WEB入会 申込者数：61人 入会者数：48人	入会説明会と同等の内容をWEB上で案内し、非対面での説明会を推進しました。QRコードの活用等により申込者数は昨年度の約2倍になりました。

2 就業の推進

(1) 就業機会の確保

シルバー人材センターの基幹をなす請負・委任契約による受託事業を引き続き着実に受注するとともに、受託業務において適正就業の一層の推進を図りました。また、「一般労働者派遣事業」においても登録を推進し着実に体制整備を進めました。

自主事業については事業採算性の向上を図りながら、高齢者の経験と知識を活かした地域貢献につながる事業に取り組みました。

1) 受託事業

区 分	実施回数等	備 考
① 各種請負・委任 の受託事業	通年 (6,470 件)	港区を始め、東京都・企業・一般家庭等からの受託業務を履行しました。
② 家事援助や訪問 型サービス事業の 展開	随時	高齢化に伴い増加する訪問型サービス事業の担い手としての取組を進めました。
③ 孫の手サービス	通年 (275 件)	高齢者(60歳以上)や障がい者を対象とした生活支援事業。電球交換や、話し相手など日常生活のサポートを行いました。

2) シルバー派遣事業

区 分	実施回数等	備 考
シルバー派遣事業 の体制整備	派遣登録説明会 2回実施 16人登録	実施6年目。依頼に即時対応するため、パソコンを使用する事務・経理業務の登録・研修を実施しました。

3) 自主事業

区 分	実施回数等	備 考
① リサイクル 自転車販売事 業	販売台数 253 台 ・作業連絡所販売分 253 台 販売日：毎月第2日曜日 (3月のみ第4日曜日) ・エコライフフェア 中止 ・区民まつり 中止	リサイクル自転車の売上げの一部 26,565 円を港区社会福祉協議会に寄付しました。購入者に対する自転車の無料点検を実施しました。
② ふれあい館 スマホ・ パソコン 教室事業	受講生 延 1,022 人 ・無料体験講座 ・集合講座、個人講座 ・個人レッスン、訪問レッスン	会員の自主企画・提案により講座数を増やし、スマートフォン講座の充実を図りました。
③ ふれあい館 カルチャー 講座事業	受講生 延 5,009 人 講座 延 315 講座 ※平均月 26 講座開催 (3ヶ月ごとに開講期を設定)	英会話・中国語・囲碁・気功・サルサダンス・ジャズダンス・ヨガ・マッサージ・デッサン・書道・日本舞踊・生け花・俳句・折り紙・歴史ガイド・読み聞かせ・文章の書き方等の各種講座・教室など
④ガイド事業	歴史ガイド・歴史散策シリーズ 3企画、8コース実施 参加者 延 49 人	文部科学省や勝海舟旧邸宅跡等、個人では訪れる機会の少ない港区及び近隣のガイド企画を立案・実施しました。

4) 指定自主事業

区 分	実施状況	内 容
① 軽作業室 統括事業	月～金曜日で月 20 日以内 9 時～17 時の 6 時間以内 1 人 就業	軽作業室内における依頼内 容の手配、作業段取り、点 検・納品など
② 家事援助 サービスコー ディネーター 事業	月～金曜日で月 20 日以内 13 時～17 時の 4 時間以内 2 人ローテーション就業	発注者宅への訪問、依頼内 容の手配、研修会の実施な ど
③ 運搬業務	月～金曜日で月 23 日以内 8 時 45 分～16 時 45 分の 7 時間以内、4 人ローテーショ ン就業	植木道具、襖・障子、作業 室業務の原材料等の搬入・ 搬出、納品、車両整備など
④ 入会時就業 (トライアル)	31 人就業 延 39 日	新入会員に対するセンター の体験就業として、有栖川 宮記念公園で希望者による 清掃業務を実施

5) 就業機会開拓・創出員事業

区 分	実施回数等	備 考
就業機会創出 員による就業 機会の開拓	毎月 16 日 配置：2 人	派遣業務の就業機会を増やすため、 事務系（特にパソコンのスキルを必 要とした）仕事の開拓を中心に行い ました。一方、パソコンを使用しな い軽作業やモニター業務の就業開 拓も実施しました。

6) 適正就業対策事業

区 分	実施回数等	備 考
① 受託業務の 適正化	随時	適正就業ガイドラインの内容等を踏まえ て、就業マニュアルや、就業環境の見直し を行いました。
② 適正就業点 検の実施	年 1 回 11 月	就業現場を巡回しながら会員の就業状 況の実態を点検し、適正就業を推進しま した。また、適正就業の内容についてホーム ページを通じて周知を図りました。

③ 就業マニュアルの整備	随時	グループリーダーに向け、就業マニュアルの重要性及び整備について呼びかけ、適宜整備を進めました。
--------------	----	---

(2) 就業紹介と就業の推進

就業機会紹介の着実な実施に向けて、均一な情報提供と公平性の高い公募性を継続しました。人手不足の業種には、仕事の対象を絞ったチラシの勧誘や未就業者に対する相談会を開催するなどして就業マッチングの改善を行いました。

1) 就業開拓提供事業

区 分	実施回数等	備 考
① 就業情報提供の推進	事務局だより 実施回数:12回	事務局だよりで月に1度就業情報を掲載し、全会員に郵送し公平な就業機会提供を行いました。さらにホームページの会員専用サイトで就業情報掲載を行う他、事務局前のフロアで就業情報の貼り出しを行いました。
② 多人数就業者型業務現場への対応	チラシ 新聞折込 年2回 2、3月	多くの就業会員を必要とする現場での就業者不足を解消するため、就業事例を掲載したチラシを作成、新聞折込等を実施し、新規会員への就業機会の充実に取り組みました。また、就業相談会に来た会員に積極的にPRしました。
③ 予備登録制度の活用	随時	就業者選考においては公平性を継続する一方、急な依頼や欠員に対して速やかに対応するため、予備登録制度を活用しました。
④ インターネット型就業情報提供システムの活用	随時	インターネット型情報提供システム Smile to Smile を活用し、モニター業務等の募集を実施しました。

2) 相談事業

区 分	実施回数等	備 考
① 未就業会員を対象にした相談機会の充実	年3回 4、10、2月	未就業会員に対して相談会を開催し、就業機会の提供に努めました。また、公園清掃業務や登下校誘導業務といった多人数の就業会員を要する業務に絞った相談会を企画し、就業に結びました。
② 新型コロナウイルス感染症に関する相談	随時	感染者が高止まりする中、就業を継続することへの不安や、就業を休止したい会員に対し、個別に相談を行いました。

3 就業の質の向上

センターが就業を拡大するためには、仕事の質の向上が欠かせません。契約を忠実に履行することはもちろんですが、確かな技術や豊かな知識、親切丁寧な接遇こそがセンター就業全体の根幹となっています。新規に仕事に就く会員が就業活動にスムーズに参画できるようにするために、センターの就業に対する基本姿勢も含めて研修を実施しました。

また、会員の就業に対する発注者の評価、満足度、利用状況、会員及びセンターへの要望・意見等を把握し、今後のサービスの質の向上や事業内容の改善に役立てることを目的として、アンケートによるお客様満足度調査を実施しました。

(1) 調査事業

区 分	実施回数等	備 考
お客様満足度調査	年1回 4月～9月	単発・継続・派遣契約の業務を発注した民間企業・個人のお客様へ提供サービスの評価、発注の経緯、今後の依頼意向を設問としたアンケートを733件発送し、453件回答がありました。(回収率61.8%)

(2) 基礎研修

区 分	実施回数等	備 考
初回就業後講習	4、10～2月(月2回) 並びに3月(月1回) 参加者：延65人	新規就業会員に対し、事業趣旨や就業マナーを講習し、就業の質を高めました。

(3) 会員技能研修

区 分	実施回数等	備 考
① 訪問型サービス研修の実施	新型コロナウイルス感染防止のため中止	訪問型サービス登録会員向けに、掃除に関する研修を予定していました。
② 福祉・家事援助サービス業務技能研修	新型コロナウイルス感染防止のため中止	福祉・家事援助サービス就業会員向けに、掃除のコツ等を中心とした技能研修を予定していました。
③ 植木剪定・除草技能研修	新型コロナウイルス感染防止のため中止	造園の専門家に講師を依頼し、剪定技能・刈込み等の技能研修及び安全就業に関わる研修を予定していました。
④ 接遇・個人情報保護研修	年1回 2月 延べ10回 参加者:94人	港区から直接受託している就業先で区民と接することの多い現場を中心に接客対応・個人情報保護の研修を実施しました。 (対象業務：学校施設開放管理、区民協働スペース)
⑤ 児童登下校誘導業務研修・接遇研修	新型コロナウイルス感染防止のため中止	改めて就業内容を確認するとともに、児童登下校誘導業務の履行に必要な知識、動作等を愛宕警察署の協力を得て学ぶ予定でした。
⑥ パソコン操作基礎研修	年1回 7月 参加者：19人	請負業務を希望する会員のパソコンスキルが、就業に必要なレベルに達しているか確認できる研修を実施しました。

⑦ 日商パソコン検定研修 (basic)	年1回 12月 参加者：8人	派遣業務を希望する会員等に、日本商工会議所主催の「データ活用Basic」の受験を支援するための対策研修を実施しました。
⑧ 選挙事務パソコン操作研修	年1回 10月 参加者：52人	選挙事務業務の名簿対照業務に従事する会員向けにパソコン操作研修を実施しました。
⑨ 自動車運転講習会	年1回 5月 受講者：8人	運転に従事する会員全員が自動車教習所で高齢者講習を受け、適正確認を行いました。
⑩ ZOOM体験研修	年1回 3月 受講者：7人	オンラインミーティングの未経験者や就業や会議等で利用を検討している会員に対して「ZOOM」を使用した体験研修を実施しました。

(4) その他研修

区 分	実施回数等	備 考
① 東京しごと財団各種研修	年4回 参加者：延4人	東京しごと財団主催の安全就業研修会や自転車安全利用講習会等に役員・委員を派遣しました。
② シルバー人材センター職域拡大技能講習・就業支援講習	3種、5コース 参加者：7人	福祉・家事援助サービス：「ハウスクリーニング」2人、孫の手サービス他：「接遇」2人、毛筆筆耕：「賞状書き」2人、「宛名書き」1人
③ AED・普通救命講習	年1回 10月 延べ10回 参加者：70人	公共施設管理業務を中心にAED(自動体外式除細動器)の操作方法と救急救命の実技講習を実施しました。

4 安全就業の徹底

会員の安全就業を第一に考え、事故や危機を未然に防ぐために各種講習会等を実施しました。

また、会員の平均年齢が年々高まっており、就業中や往復途上で多く見られる転倒事故を始めとした事故の未然防止対策に重点を置いています。この他、新型コロナウイルスの感染防止対策として感染予防グッズを全会員へ配布しました。

(1) 安全就業対策事業

区 分	実施回数等	備 考
① 令和3年度安全就業方針等の確認	年1回 4月	安全就業対策の方針等を確認しました。
② 交通安全講習	年1回 7月 中止 12月 16人	麻布警察署や東京都の協力で高齢者向けの自転車交通安全DVD講習を行いました。7月は緊急事態宣言発出に伴い中止としました。
③ 安全就業講習事業	年2回 6、12月 ※6月は啓發文書等を送付	6月はコロナ禍により事故報告と就業現場安全確認を文書で連絡しました。12月はグループリーダー会議時に事故報告と就業現場安全確認を実施しました。
④ 安全就業強化月間事業	年1回 7月	会員の交通事故発生防止のため交通安全講習会を開催し、安全就業意識の向上のためのPR及び安全標語の募集を実施しました。
⑤ 安全就業パトロールの強化	年1回 12月	東京しごと財団の安全就業パトロール指導員による対象現場2ヶ所の巡回と、センターの安全就業対策事業の調査に対応しました。
⑥ 熱中症対策等	年1回 6~9月	熱中症予防対策として、情報提供や対策用品の配布を行いました。既存会員及び9月までの新入会員に配布しました。
⑦ 就業体力測定の充実	年1回 11月 参加者：22人	専門機関に依頼し、体力測定と健康講座を実施しました。

⑧ 転倒予防講習	年1回 11月 参加者：22人	介護予防総合センターの協力を受け、会員等の日常生活や就業中・就業途上の転倒事故を防止し、会員が安全に生活し就業を行うため、転倒予防講習を開催しました。
⑨ 区民のための健康教室	年1回 3月 参加者：44人 (内区民3人)	外部の専門講師を招いて、会員及び一般区民高齢者のために、フレイル予防をテーマに実施をしました。
⑩ 安全就業推進巡回	合計4ヶ所 12月(2ヶ所) 3月(2ヶ所)	当初は3ヵ月に1度巡回する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により年2度の巡回となりました。 重篤事故に繋がりやすい植木剪定・除草作業を中心にセンター委員が巡回しました。
⑪ 事故分析調査	事故発生後 都度実施	会員の就業に伴う事故を未然に防止するため、事故の原因を分析し、再発防止策を研究しました。
⑫ 新型コロナウイルス感染防止対策グッズの配付	年1回 2月	感染者の増加が見られたため、全会員へアルコール配合ジェル2個、不織布マスク1箱、アルコール除菌ウェットティッシュ3箱、啓発文書を配付し、感染防止に努めました。

(2) その他安全就業対策事業

区 分	実施回数等	備 考
① 第4ブロック共同事業への参加	年1回 11月 参加者：5人	第4ブロック(近隣6センター)シルバー人材センター共同開催の「事故未然防止講習会」に参加しました。
② 東京しごと財団等の「安全就業関係事業」への協力	随時	東京しごと財団の安全標語募集へ協力を行いました。 また、東京しごと財団とメーカーが共同開発した自転車用ヘルメットの販売等に協力しました。

③ 救急箱の整備	随時	就業中のケガ等に備えるために、救急箱を必要な現場に配布・補充しました。
----------	----	-------------------------------------

(3) 傷害・賠償事故

令和3年度の事故概要は、VIの事故報告のとおりです。

5 会員活動の推進

会員同士の情報交換や円滑なコミュニケーションが取れるよう、工夫を凝らしたちいコミ（地域班会議）を推進する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回目は中止、2回目も4班のみの実施となりました。

また、公益法人として地域に貢献できる各種ボランティア活動を、新型コロナウイルスの感染防止に注意しながら推進しました。

(1) 会員活動推進事業（地域班）

区 分	実施回数等	備 考
① ちいコミ（地域班会議）17地域班	4班実施 参加者：124人	全班実施予定でしたが、まん延防止等重点措置により4班のみの実施となりました。
② 地域班長会議	年1回（10月）	コロナ禍におけるセンター活動状況等の情報共有を行いました。
③ 地域班連絡会	新型コロナウイルス感染防止のため中止	地域班役員による、班運営の課題について意見交換等の機会を予定していました。

(2) 会員活動（職群班・仕事別グループ）

区 分	実施回数等	備 考
仕事別グループリーダー会議	年1回（12月） （6月は新型コロナウイルス感染防止のため書面開催）	仕事別グループのリーダーに対し、適正就業や安全就業の注意喚起を行いました。また、コロナ禍における就業の注意点やBCP（事業継続計画）等の周知を実施しました。

(3) その他会員活動（職群班・仕事別グループ）

就業を円滑に行うため、仕事別グループ毎に会員が会議を行いました。

なお、新型コロナウイルス感染防止のため中止した会議がありました。

開催状況の一覧は、下表のとおりです。

仕事別グループなど	回数等
① 暫定自転車駐輪場整理業務（リーダー会）	年 12 回
② 衛生害虫防除薬剤投入業務（全体会）	中 止
③ 菊池寛実記念 智美術館管理業務（全体会）	年 3 回
④ 植木剪定業務（全体会・打合せ会）	年 6 回 全体会は 中止
⑤ スポーツ施設管理業務（全体会）	年 2 回
⑥ 港勤労福祉会館管理業務（全体会）	年 1 回
⑦ 田町駅東口・品川駅港南口・白金高輪駅・白金台・浜松町駅 北口・こうなん星の公園・三河台公園・六本木駅・桜田公園・ 広尾駅駐輪場管理業務(各全体会)	年各 1 回
⑧ いきいきプラザ受付管理業務（17 グループの内 4 グループ）	年各 1 回
⑨ スマートフォン・パソコン教室講師会議	年 2 回
⑩ 公園清掃グループ（全体会）	書面配付
⑪ 訪問型サービス（全体会）	中 止
⑫ 小・中学校施設開放管理業務 （調整員会議・全体会議・班会議）	年 26 回
⑬ 区政資料室管理運營業務（全体会）	中 止
⑭ リビングサービスグループ（全体会）	年 1 回
⑮ 公共施設清掃グループ（打合せ会）	年 12 回
⑯ 作業室軽作業グループ（全体会）	年 1 回
⑰ 児童登下校誘導業務（調整員会議）	年 12 回
⑱ みなとパーク駐輪場管理業務（全体会）	年 1 回
⑲ ガイド事業業務（定例会）	年 7 回
⑳ リサイクル自転車全体会	中 止
㉑ いきいきプラザ喫茶コーナー業務（全体会）	年 1 回
㉒ ゆとり～む喫茶コーナー業務（全体会）	年 1 回

⑳ みなとふれあい館受付業務（全体会）	年 3回
㉑ 新橋・芝公園・東麻布・麻布・六本木区民協働スペース管理業務（全体会）	年各 1回
㉒ 旧乃木邸管理業務（全体会）	年 5回
㉓ 麻布区民センター受付等管理業務（全体会）	年 1回
㉔ 伝統文化交流館管理業務（全体会）	年 1回
㉕ 福祉・家事援助サービス業務（全体会）	中 止
㉖ 全戸配布業務（各地区別全体会）	書面配付

(4) 社会貢献活動事業

区 分	実施回数等	備 考
① 清掃ボランティアの推進・支援	シルバー人材センター感謝デー清掃ボランティア 年1回 参加者：176人	センター設立記念日に 17 地域班で一斉に地域の道路等の清掃活動を行いました。
	清掃ボランティア 新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。	各地域班の自主企画によるボランティア清掃を予定していました。
② 福祉支援活動の推進	使用済み切手の寄付 15.9 kg	事務局だより等で会員に呼びかけ、集めた使用済み切手を港区社会福祉協議会へ寄付しました。
	未使用タオル、木綿の布の寄贈 年2回	タオル、木綿の布の寄贈を事務局だより等で会員に呼びかけ、コーラスボランティアで訪問している区内高齢者施設延べ3か所に寄贈しました。
	地域交流カフェ 年4回 参加：延 223人	センター会員や地域住民の交流の場として南麻布いきいきプラザと共催し、お休み処“いっぷく”を実施しました。参加者に楽しんでもらえるよう毎月の催し物を工夫しました。

③ ボランティア活動	コーラスボランティア 練習：年 12 回 参加者：延 193 人	新型コロナウイルス感染防止のため高齢者施設への訪問は中止し、練習の開催及び「WEBでみなと区民まつり」に参加しました。
	街・道案内ボランティア中止	地域貢献活動として街や道の案内を麻布十番駅・六本木駅前で行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。
	ゆうあいカフェ 年 8 回 参加者 延 495 人	会員の交流の場、情報交換の場、切手を封筒から切り取るボランティアの場として、会員が就業報告書を提出する月初に“ゆうあいカフェ”を行いました。
	花壇ボランティア 有栖川宮記念公園 網代公園 狸穴公園 筈児童遊園 水やり：年 216 回 参加者：延 289 人	花壇ボランティアとして、週 1～3 回、1～7 人程で水やり、花柄摘み等を行いました。 花の植替えを年 1～2 回行いました。
④ 他団体との ボランティア活動	港区アドプトプログラム 高輪班 水やり：45 回 参加者：延 45 人 白金台班 水やり：43 回 参加者：延 44 人	高輪班は高松くすのき公園、白金台班は白金台 4 丁目児童遊園の花壇の水やり、花柄摘み、花の植替え作業を行いました。両班と区がアドプトプログラム協定を締結し、活動しています。 港区から長年の活動が評価され、「景観街づくり賞特別賞」を受賞しました。
	六本木安心安全プロジェクト、清掃活動 年 3 回 参加者：延 5 人	麻布地区総合支所管内のボランティア活動に協力しました。

	東京マラソン祭り 2021 新型コロナウイルス 感染防止のため参加 を中止しました。	東京しごと財団と連携し、ランナーの応援イベントに参加し、観客案内等のサポート活動を行う予定でした。
	MINATO シティハーフ マラソン 2021 新型コロナウイルス の影響により大会が 中止になりました。	港区と連携し、会場までの道案内や声掛け等のボランティア活動を行う予定でした。

(5) その他事業推進組織活動

区 分	実施回数等	備 考
① センター活動率の設定と会員活動の推進	検討（通年）	就業以外の理由でセンターに在籍し、地域活動を希望するプラチナ会員の新たな指標としての「活動率」を検討しました。センター活動率の基礎となる就業以外の活動をリストアップする作業を実施しました。
② 定期的な会員安否確認の実施	検討（通年）	社会貢献活動委員会が主体となり、安否確認を兼ねた傾聴ボランティアグループ「コスモス」を令和3年4月に立ち上げました。利用ニーズの実態把握及び活動内容の検討を行いました。

6 推進体制の強化

(1) 推進体制の強化

公益社団法人としてコンプライアンスを推進し、法人設立の目的実現に資する効果的な業務執行に向けて、執行機関において的確な経営判断が行われるように努めました。また、公益法人としての適切な会計処理及び事業を推進する事務局体制の強化を図るとともに、災害等に対応できる危機管理体制づくりに取り組みました。

1) 会員意識調査の実施（調査事業）

区 分	実施回数等	備 考
会員意識調査 会員現況調査	検討	令和 4 年度の調査に向けて、調査方法及び項目等を検討しました。

2) 総会・理事会・監査

区 分	実施回数等	備 考
① 定時総会	年 1 回 6 月	監査報告、事業報告の後、決算、役員を選任、定款変更を決議しました。
② 理事会	年 12 回 (うち、書面開催 4 回)	定期的に理事会を開催し、会務運営や業務執行等について審議しました。令和 4 年 1 月からはオンラインによる会議形態を採用しました。
③ 内部監査	年 4 回 4、9、11、3 月	監事による前年度決算監査、中間監査、年度末現金監査を受けました。
④ 公認会計士による監査	年 2 回 4、10 月	公認会計士に監査を依頼し、令和 2 年度決算と令和 3 年度中間監査を実施しました。
⑤ 外部監査	年 3 回 6、10、12 月	港区、東京都、東京労働局から会計指導及び監査を受けました。

3) 執行会議

区 分	実施回数等	備 考
執行会議	年 12 回	代表理事及び業務執行理事により、事業の重要事項の方針・執行に関して協議を行い、理事会の運営に当たりました。

4) 役員・職員研修

東京都シルバー人材センター連合(東京しごと財団)主催等の研修に参加し、最新の情報収集を行い経営に役立てました。

区 分	実施回数等	備 考
① センター役員研修	年2回 参加者：延4人	全国シルバー人材センター事業協会及び東京しごと財団が主催する役員研修に参加しました。
② 役員視察	中止	先進センターへの視察を計画していましたが、コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

5) 会員表彰

区 分	実施回数等	備 考
会員表彰	年1回 92人	会員表彰75人、地域班長・副班長表彰11人、役員表彰3人、東京しごと財団シルバー人材センター役員表彰3人

6) 事務局BCP

区 分	実施回数等	備 考
事務局のBCP (事業継続計画)	演習 年1回	地震によるBCPの発動を想定した演習を実施しました。専門コンサルタントからの指摘に基づきBCP文書の改善を図りました。

(2) 事務局体制の強化

1) 組織の強化・合理化

- ・各事業に対し適切な人員配置を行い、会員の活用も推進しつつ事務執行にあたりました。
- ・職員の階層別役割の明確化をはかり、職層に対応した各種研修に参加し、職員の資質向上に努めました。
- ・会員目線を心掛け、マナー向上を図りながら会員に信頼される事務局運営に努めました。
- ・事業運営の「透明性」「民主性」「公平性」に立脚し、会員目線に立った事務局運営に努めました。

2) 事務事業の合理化

- ・事業の定期的な見直しや業務効率化を通じて、会員サービスや発注者へのサービスを向上するよう努めました。

- ・事務の簡素効率化、新しい事務処理システムの導入により事務の合理化に努めました。
- ・感染症等により事務局事業が中断しないよう、環境の構築及び在宅勤務を実施しました。

(3) 財源の確保と安定経営

1) 財源の確保

- ・未収金については早期回収に努めました。
- ・地方自治法施行令の一部が改正され、随意契約の方法でシルバー人材センターに仕事を発注することが可能な状況を踏まえて、政策目的随意契約の活用を東京都シルバー人材センター連合とともに港区に働きかけました。

2) 安定経営の推進

- ・経営基盤強化のため経費節減に努め、事業の優先度に応じて資金を充当しました。

3) 財政計画

- ・経常増減額は、収支相償の原則に則り最小限度を目指しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため未実施の事業が生じ、剰余金が発生しました。
- ・リサイクル自転車事業及びリビングサービスの作業所移転計画に伴い、将来発生する費用に備え「自転車リサイクル事業等作業所移転費用準備資金」を積み立てました。
- ・令和5年10月に開始される消費税のインボイス制度について、全国シルバー人材センター事業協会や東京しごと財団等と連携を図りながら情報収集を行い、事務局だよりや理事会において経過を報告しました。

V 組織（諸会議の活動状況）

1 総会・理事会・地域班連絡会

会議の名称	開催年月日	主な議事
第 1 回 理 事 会	4 月 30 日 ※書面開催 によるみな し決議	<ul style="list-style-type: none">・ 入会者（4 月分）について・ 令和 3 年度定時総会の開催方法及び提出案件について・ 令和 3 年度表彰者について・ 令和 2 年度事業報告について・ 令和 2 年度決算について
第 2 回 理 事 会	6 月 1 日 ※書面開催 によるみな し決議	<ul style="list-style-type: none">・ 入会者（5 月分）について・ 令和 3 年度会計関係書類の廃棄について・ 就業期限延長者について
定時総会	6 月 25 日	<ul style="list-style-type: none">・ 第 1 号報告 令和 2 年度監査報告の件・ 第 2 号報告 令和 2 年度事業報告の件・ 第 1 号議案 令和 2 年度決算の件・ 第 2 号議案 定款の一部改正の件・ 第 3 号議案 会費規程の一部改正の件・ 第 4 号議案 第 22 期理事 11 人選任の件
第 3 回 理 事 会	6 月 25 日	<ul style="list-style-type: none">・ 会長、副会長（代表理事）の選定について・ 理事会運営規則第 8 条第 1 項に基づく理事会の議長の順序について
第 4 回 理 事 会	6 月 29 日	<ul style="list-style-type: none">・ 入会者（6 月分）について・ 規程の一部改正について・ 競業及び利益相反取引について
第 5 回 理 事 会	7 月 28 日 ※書面開催 によるみな し決議	<ul style="list-style-type: none">・ 入会者（7 月分）について・ 就業期限延長者について・ リサイクル自転車作業所等の移転に係る進捗状況について
第 6 回 理 事 会	9 月 22 日 ※書面開催 によるみな し決議	<ul style="list-style-type: none">・ 入会者（8 月分）について・ 令和 3 年度第 1 号補正予算について・ プラチナ会員申請者について
班 長 会	10 月 22 日	<ul style="list-style-type: none">・ ちいコミ（地域班会議）の開催について・ 各委員会からのお知らせ

港区と役員 の懇談会	10月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバー人材センターを所管する港区保健福祉支援部とセンターの役員で現状の課題について懇談を行いました。
第7回 理事会	10月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入会者（9・10月分）について ・ 植木剪定業務による債務不存在確認請求訴訟について ・ 代表理事及び執行理事による職務執行状況報告について
第8回 理事会	11月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入会者（11月分）について ・ 上半期決算報告及び監査報告について ・ 令和4年度予算編成方針について ・ 入会者に対する会費の特例措置について
第9回 理事会	12月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入会者（12月分）について ・ 港区外郭団体経営評価結果について ・ 区外在住会員の申請について
第10回 理事会	1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入会者（1月分）について ・ 令和4年度契約更新について ・ 令和4年度就業確認について
第11回 理事会	2月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入会者（2月分）について ・ 令和4年度事業計画について ・ 令和4年度予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて ・ 役員賠償責任保険の契約について
地域班 連絡会	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染防止のため中止
第12回 理事会	3月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入会者（3月分）について ・ 規程の制定及び一部改正について ・ 会費未納者への対応について ・ 令和4年度配分金支払基準について ・ 競業及び利益相反取引について

2 専門委員会及び理事担任制

(1) 企画組織委員会

活動課題 活動【10回】	① 事業運営推進機関の所掌事務について ② 地域班連絡会、班長会のあり方について ③ 地域班会議の運営について ④ 基本計画の推進について
-----------------	---

(2) 広報委員会

活動課題 活動【10回】	① ホームページ等による情報発信について ② 入会経路の分析について ③ 広報強調月間事業の実施について ④ 会員増強月間について ⑤ SNSを活用した情報発信の検討について
-----------------	---

(3) 研修委員会

活動課題 活動【11回】	① 参加しやすい入会説明会の開催について ② 初回就業後講習について ③ 未就業会員を対象としたフォローアップ研修について ※コロナ禍のためオンライン会議を2回開催しました。
-----------------	--

(4) 社会貢献活動委員会

活動課題 活動【9回】	① ボランティア活動の推進について ② 既存ボランティアの活動の拡充について ③ 新たなボランティア活動の取組みについて
----------------	--

(5) 就業対策委員会

活動課題 活動【11回】	① 適正就業対策のあり方検討について ② 就業マニュアルの整備・充実について ③ 未就業者対策について ④ 就業の基準等に関する要綱の整備について ⑤ 就業体力測定事業の実施について ⑥ 適正就業現場視察の実施について ⑦ 区外在住会員・就業期限延長者の対応について
-----------------	---

(6) 事業対策委員会

活動課題 活動【10回】	① 新規開拓事業分野の検討について ② 基本計画の推進・検討について ③ 顧客満足度調査の検討について ④ ふれあい館事業の運営検討について
-----------------	--

(7) 地区担当理事

活動課題 活動【0回】	港区の各地区総合支所と連携し、地域の情報共有のため開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止になりました。
----------------	---

(8) 安全管理委員会

活動課題 活動【9回】	① 安全対策の推進について ② 安全啓発事業の実施について ③ 健康管理対策の実施について
----------------	---

(9) 配分金検討委員会

活動課題 活動【1回】	① 令和4年度の配分金基準について ② 令和4年度の配分金支払い日について
----------------	--

(10) 衛生委員会

活動課題 活動【8回】	① 派遣会員の健康の保持増進について ② 派遣会員の職場環境や安全就業の確認について
----------------	---

VI 事故報告

令和3年度事故概要報告

令和3年度は、傷害事故12件、賠償事故3件、合計15件となっており令和2年度に比べ傷害事故は3件減少、賠償事故は3件増加しました。昨年度は傷害事故が15件、賠償事故が0件でした。

No.	区分	性別	年齢	職群	発生状況	傷害・損害の状況
1	傷害	女	76	屋内軽作業	帰宅途中、砂利に足を滑らせ転倒し、顔と両ひざを打ち付けた。	顔・両膝打撲
2	傷害	男	75	自転車管理	花壇の縁に上り木の枝を縛る作業をしていたところ、誤って花壇の縁から後ろ向きに転倒。お尻を痛打し右大腿骨を骨折した。	右大腿骨骨折
3	賠償	男	71	植木剪定除草	除草作業中に、建物横に沿って配線されていた、NTTの光ファイバーケーブルに気が付かず切断してしまった。	光ファイバーケーブル切断
4	傷害	男	73	公園清掃	就業中、除草作業をしていたところ虫に刺された。	虫刺性皮膚炎
5	傷害	女	72	衛生害虫防除	車道にある雨水桝に薬剤を投与し、左足を縁石にのせて車道側に右足を置いて、地面にチョークでチェックマークを書く作業をした後、歩道へ戻る際に左足を捻った。	左足首骨挫傷
6	傷害	男	79	登下校	帰宅途中、急なめまいが起き転倒した際に腕、腰等を打った。	腰・腕の打撲・擦り傷

No.	区分	性別	年齢	職 群	発 生 状 況	傷害・損 害の状況
7	傷害	女	80	公園 清掃	作業中に段差に足を滑らせ転倒。体の左側を地面に打ち付けた。	大腿骨 骨折
8	賠償	男	72	障子の 張替え	障子を枠から外そうとした時に、敷居を一部破損した。	敷居の 破損
9	傷害	男	78	公園 清掃	作業中、公園の柵をまたごうとしたところ、転倒した。その際に左ひざを地面に打ちつけた。	左足膝 打撲
10	傷害	女	72	試験 監督	試験業務設営中、教室後方にあった机につまずき転倒。手で支えた時に手首を負傷した。	右手首 捻挫
11	傷害	女	81	登下校	ドアを開けて出ようとした際に、逆側から入ってきた人がドアを押して来たのに気付かずバランスを崩して転倒した。その際に右足の太ももから膝の辺りと左手を打った。	右足膝、 左手の 打撲・内 出血
12	賠償	男	74	駐輪場 管理	お客様の自転車空気入れを手伝った際、誤って自転車を転倒させてしまい、カゴに入れていた道具の破損及び足を負傷させてしまった。	右足首の 打撲、 ラケット の破損
13	傷害	男	71	施設 管理	帰宅途中にレンガを敷き詰めた歩道で少し飛び出ているレンガにつまずき前方に転倒した。	右母子打 撲、右膝、 左手挫傷
14	傷害	男	82	公園 清掃	自転車で帰宅する途中、鳩を避けるためにハンドルをきったところ、縁石に転倒。	左大腿打 撲血種
15	傷害	男	78	公園 清掃	作業中、足がもつれて転倒した。手をつけずにあごから転び、あごを切った。	あご裂傷

VII 附属明細書

令和3年度事業報告に、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありませんでした。

令和3年度地域班別会員現況表

令和4年3月31日現在

階層 地域班	60～64歳		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80歳以上		合 計		平均年齢		最高年齢				
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性			
新橋・愛宕	0	0	2	0	2	12	4	2	6	5	3	8	14	14	28	78.8	75.8	90	89
大門・芝公園	0	3	3	2	4	6	7	3	10	2	5	7	13	19	32	76.0	74.6	85	87
芝	2	3	5	5	6	11	21	17	8	25	19	31	64	44	108	76.4	74.9	89	89
芝浦海岸通	2	2	4	9	12	21	30	26	56	40	27	47	88	80	168	76.4	75.3	88	87
港 南	1	8	9	8	10	18	20	20	40	35	23	36	71	67	138	77.0	74.0	88	89
台 場	0	1	1	0	4	4	7	2	9	7	1	5	12	14	26	75.4	75.6	82	89
高 輪	5	7	12	11	10	21	26	43	69	52	17	40	82	112	194	75.3	75.2	92	93
白金台	0	2	2	5	13	18	20	17	37	25	11	18	50	50	100	76.0	74.1	92	92
白 金	0	3	3	10	15	25	18	27	45	28	13	28	70	73	143	77.2	74.0	99	92
三 田	4	5	9	9	15	24	28	35	63	52	8	22	74	96	170	74.3	74.6	86	89
六本木	0	2	2	5	9	14	8	8	16	10	7	17	24	35	59	75.4	73.9	89	86
南麻布	0	7	7	9	8	17	21	19	40	30	14	21	58	57	115	75.8	73.5	90	88
麻布中央	4	3	7	10	6	16	18	15	33	24	6	19	47	52	99	72.9	75.8	88	87
西麻布	0	3	3	4	5	9	16	12	28	15	4	15	39	31	70	75.7	74.2	86	91
南青山	1	3	4	11	8	19	11	15	26	28	11	23	47	53	100	75.1	75.5	88	89
北青山	0	2	2	4	11	15	6	13	19	20	13	19	27	48	75	78.8	74.4	91	88
赤 坂	1	5	6	8	8	16	7	13	20	21	4	9	35	37	72	74.4	72.1	89	85
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	4	1	5	80.0	76.2	84	76
合 計	20	59	79	110	146	256	264	291	555	432	204	380	819	883	1,702	75.8	74.5		

令和3年度事業実績前年度対比表(請負契約)

(公社)港区シルバー人材センター

会員数 (人)	就業実人員 (人)	就業率 (%)	事業別 区分	事業詳細	契約件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額 (円)				構成比	契約金額 公民比(%)
							配分金	材料費	事務費	合計		
全体 1,702 (100.9)	全体 1,255 (95.7)	全体 73.7% -(4.1 P)	民	公共	1,255 (97.4)	52,499 (113.3)	223,772,595 (108.6)	17,045,384 (113.2)	29,532,412 (118.9)	270,350,391 (109.9)	41.8% -(0.2 P)	
1,686	1,312	77.8%			115 (119.8)	2,095 (119.2)	206,117,014	255,526 (173.2)	24,833,672	12,669,455 (115.6)		42.0%
				会社	96	1,757	9,624,833	147,507	1,183,448	10,955,788	3.2%	
			民間	企業	2,619 (106.6)	66,802 (105.6)	268,201,962 (110.8)	9,553,453 (138.5)	34,513,359 (96.6)	312,268,774 (109.7)	82.8%	
					2,457	63,281	241,952,862	6,896,469	35,719,109	284,568,440	83.7%	
				計 (企業等)	2,734 (107.1)	68,897 (105.9)	279,276,149 (111.0)	9,808,979 (139.3)	35,853,101 (97.2)	324,938,229 (110.0)	86.2%	
男性 819 (101.4)	607 (99.2)	74.1% -(1.6 P)	民間	家庭	2,292 (118.4)	8,245 (113.5)	29,455,206 (113.2)	2,728,572 (128.8)	2,979,188 (103.4)	35,162,966 (113.4)	9.3%	
808	612	75.7%			1,936	7,263	26,012,514	2,117,729	2,882,573	31,012,816	9.1%	
				独自	189 (132.2)	3,134 (124.8)	14,585,321 (123.4)	438,495 (95.7)	2,008,545 (149.2)	17,032,361 (125.0)	4.5%	
				間	143	2,512	11,816,752	458,218	1,345,896	13,620,866	4.0%	
女性 883 (100.6)	648 (92.6)	73.4% -(6.3 P)	民間	小計	5,215 (112.6)	80,276 (107.3)	323,316,676 (111.7)	12,976,046 (134.9)	40,840,834 (99.3)	377,133,556 (110.9)	100.0% (0.2 P)	
878	700	79.7%			4,632	74,813	289,406,961	9,619,923	41,131,026	340,157,910	100.0%	
				合計	6,470 (109.3)	132,775 (109.6)	547,089,271 (110.4)	30,021,430 (121.7)	70,373,246 (106.7)	647,483,947 (110.5)	100.0%	
					5,921	121,131	495,523,975	24,674,303	65,964,698	586,162,976	100.0%	

※ 上段(ゴシック)は令和3年度、下段は令和2年度の数値。カッコ内は、前年度を100とした場合の指数を表わします。

令和3年度職群別公共民間別事業実績(請負契約)

公益社団法人 港区シルバークリニカルセンター

1. 職群別事業実績

職群別区分	契約件数		就業延人員		契約金額				金額	
	件	比率	人日	比率	配分金	比率	材料費	事務費	計	比率
1. 技術群	365	5.6%	3,081	2.3%	15,924,599	2.9%	267,666	2,818,295	19,010,560	2.9%
2. 技能群	918	14.2%	4,607	3.5%	20,872,790	3.8%	4,205,406	1,977,253	27,055,449	4.2%
3. 事務整理群	413	6.4%	4,253	3.2%	22,255,665	4.1%	142,634	2,491,795	24,890,094	3.8%
4. 管理群	1,337	20.7%	53,646	40.4%	260,027,219	47.5%	8,689,353	33,394,597	302,111,169	46.7%
5. 折衝外交群	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0.0%
6. 一般作業群	1,760	27.2%	37,024	27.9%	136,042,163	24.9%	9,974,015	21,557,796	167,573,974	25.9%
7. サービス群	1,676	25.9%	30,161	22.7%	91,936,835	16.8%	6,742,356	8,130,510	106,809,701	16.5%
8. その他	1	0.0%	3	0.0%	30,000	0.0%	0	3,000	33,000	0.0%
合計	6,470	100.0%	132,775	100.0%	547,089,271	100.0%	30,021,430	70,373,246	647,483,947	100.0%

2. 公共民間別事業実績

事業区分	受注件数		就業延人員		契約金額				金額	
	件	比率	人日	比率	配分金	比率	材料費	事務費	計	比率
公共事業	308	13.8%	52,499	39.5%	223,772,595	40.9%	17,045,384	29,532,412	270,350,391	41.8%
民間	639	28.5%	68,897	51.9%	279,276,149	51.0%	9,808,979	35,853,101	324,938,229	50.2%
個人家庭	1,267	56.6%	8,245	6.2%	29,455,206	5.4%	2,728,572	2,979,188	35,162,966	5.4%
事独自事業	25	1.1%	3,134	2.4%	14,585,321	2.7%	438,495	2,008,545	17,032,361	2.6%
事業計	1,931	86.2%	80,276	60.5%	323,316,676	59.1%	12,976,046	40,840,834	377,133,556	58.2%
合計	2,239	100.0%	132,775	100.0%	547,089,271	100.0%	30,021,430	70,373,246	647,483,947	100.0%

2の受注件数は、月を跨る契約であっても1件として算定した全国シルバークリニカルセンター事業協会協方式の数値である。(契約件数とは異なる)

令和3年度事業実績前年度対比表(シルバークーパー派遣事業)

(公社)港区シルバークーパー人材センター

登録 会員数(人)	就業実人員 (人)	事業別		契約件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額 (円)			契約金額 公民比(%)
		区分	詳細			会員賃金	手数料等	合計	
全体 471 (107.5)	全体 360 (116.5)	公共		2 (200.0)	2,257 (164.9)	10,332,600 (161.5)	2,965,455 (161.5)	13,298,055 (161.5)	10.5% (3.4 P)
438	309		企業	143 (110.9)	15,441 (105.9)	87,961,086 (105.0)	25,045,501 (106.2)	113,006,587 (105.3)	89.5% (-3.4 P)
男性 209 (102.0)		民間	個人	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0.0%
205				3	5	25,680	8,205	33,885	0.0%
女性 262 (112.4)		間	計 (企業等)	143 (108.3)	15,441 (105.8)	87,961,086 (105.0)	25,045,501 (106.1)	113,006,587 (105.2)	89.5%
233		合計		132	14,592	83,797,492	23,601,014	107,398,506	92.9%
				145 (109.0)	17,698 (110.9)	98,293,686 (109.0)	28,010,956 (110.1)	126,304,642 (109.2)	100.0%
				133	15,961	90,195,292	25,437,182	115,632,474	100.0%

※ 上段(ゴシック)は令和3年度、下段は令和2年度の数値。カッコ内は、前年度を100とした場合の指数を表わします。

年度別事業実績調(派遣)

(公社)港区シルバー人材センター

年度	登録会員数				就業延人員(人日)				契約件数				契約金額				
	男 %	女 %	人 合計 %	指数 % 伸び率	人数	人日	指数 % 伸び率	件 公共 %	件 民間 %	件 合計 %	件 公共 %	件 民間 %	件 合計 %	円 公共 %	円 民間 %	円 合計 %	指数 % 伸び率
平成28年度	57	89	146	100%	2,322		100%	3	7	10	13,873,680	5,476,382	19,350,062				100%
	39.0%	61.0%	100%				30.0%	70.0%	100%		71.7%	28.3%	100%				
平成29年度	81	138	219	150.0%	4,462		192.2%	2	37	39	10,355,687	18,101,431	28,457,118				147.1%
	37.0%	63.0%	100%	50.0%			5.1%	94.9%	100%		36.4%	63.6%	100%				47.1%
平成30年度	173	173	346	237.0%	5,488		236.3%	0	103	103	0	38,220,628	38,220,628				197.5%
	50.0%	50.0%	100%	58.0%			0.0%	100.0%	100%		0.0%	100.0%	100%				34.3%
令和元年度	196	209	405	277.4%	18,745		807.3%	2	164	166	9,019,070	128,887,130	137,906,200				712.7%
	48.4%	51.6%	100%	17.1%			1.2%	98.8%	100%		6.5%	93.5%	100%				260.8%
令和2年度	205	233	438	300.0%	15,961		687.4%	1	132	133	8,233,968	107,398,506	115,632,474				597.6%
	46.8%	53.2%	100%	8.1%			0.8%	99.2%	100%		7.1%	92.9%	100%				-16.2%
令和3年度	209	262	471	322.6%	17,698		94.4%	2	143	145	13,298,055	113,006,587	126,304,642				652.7%
	44.4%	55.6%	100%	7.5%			1.4%	98.6%	400%		10.5%	89.5%	400%				9.2%

※指数は、平成28年度に対するもの。伸び率は、前年度に対するもの。

年度別事業実績調(請負+派遣)

(公社)港区シルバー人材センター

年度	就業延人員(人日)		契約件数				契約金額			
	人数	指数 % 伸び率	件 公共 %	件 民間 %	件 合計 %	指数 % 伸び率	円 公共 %	円 民間 %	円 合計 %	指数 % 伸び率
平成28年度	151,106	100%	1,893	5,192	7,085	100%	330,401,221	403,944,644	734,345,865	100%
平成29年度	152,270	100.8%	26.7%	73.3%	100%		45.0%	55.0%	100%	
平成30年度	155,847	103.1%	19.2%	80.8%	100%	2.1%	33.5%	66.5%	100%	1.5%
令和元年度	150,431	99.6%	19.1%	80.9%	100%	1.6%	33.4%	66.6%	100%	6.3%
令和2年度	137,092	90.7%	20.0%	80.0%	100%	-3.9%	34.7%	65.3%	100%	-2.0%
令和3年度	150,473	99.6%	21.3%	78.7%	100%	-14.3%	36.2%	63.8%	100%	-9.6%
			19.0%	81.0%	100%	9.3%	36.7%	63.3%	100%	10.3%

※指数は、平成28年度に対するもの。伸び率は、前年度に対するもの。